

「太陽とかすみ草」その意味は？（先週の続き）

「花よりも花を咲かせる土になれ」これは石川県星陵高校野球部名誉監督，山下智茂先生の言葉です。山下先生は、「若い子は、花になりたいんです。でも、花だって根っこがしっかりしないと腐ってしまう。高校野球は根っこづくり」生徒をこのように教育されてきました。

誰だって目立つ存在になりたいが、主役になるためには地道な努力が必要だし、主役を引き立たせるためには他人のために喜んで自己犠牲ができる存在が必要。

「かすみ草」は目立ちません。しかし、かすみ草は主役の花を引き立てます。「喜んで他者の魅力を引き出せることができる」そういう人に育ってほしいと願っています。世の中はいろいろな人がいて成り立っている。献身的に他者を生かせる人は魅力的です。

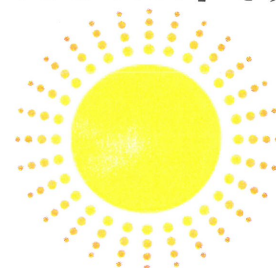


では、「太陽」にはどのような願いを込めているのでしょうか？実は、「太陽」になれている人はあまり多くないのでは？そう感じています。

月は夜輝きますが、太陽がないと輝けません。太陽は月がなくても輝いています。

「誰と一緒にいたら・・・，どこの学級だったら・・・，私はできるのに！」そういう言葉を聞くことがあります。気持ちはよく分かります。

他者に原因を求めるのか？苦しいけれども自分の原因も探るのか？「集団（組織）に課題があるのであれば、自分の力で変えてしまえ！」そういうエネルギーを求めています。まさに、自分で光を出せる「太陽」です。



今後、あなたたちはどのような集団に所属するか分かりません。相性のいい人ばかりに出会えるとは限らないのです。そして、成長するにつれ、自分でこじ開けないといけないものが増えてくることでしょう。

自分自身の身の回りで起こる問題を、明るく朗らかに自分自身で解決しようとする。「太陽」の言葉には、そういう人になってほしいという願いを込めています。

「太陽」だけでは自分が強すぎて、「かすみ草」だけでは自己抑制が強すぎて、だから、「太陽とかすみ草」が融合した学年になってほしい。「太陽とかすみ草」には、そのような願いを込めています（難しいことで、私自身がそのような人に到底至っていませんが・・・）。

3年生の皆さん、共に成長していきましょう。